

読書リスト 高校卒業までに挑戦しておきたい本 65冊 ——世界の名著と学問の入門書から—— アサンプション国際中学校高等学校 図書館 2023改訂

このリストの中から自由に選んで、高校卒業までに20冊は読みましょう。あまりに分量の多い本は、一部だけでも挑戦してみましょう。文化・学術史上重要な本を読むことによって、視野が広がって、物事の色々な面に気付くことができるようになります。本の選択眼も養われます。

| チェック | 書名 | 著者 | 出版社等 | 内容 |
|------|--------------------|---------------------|-----------|---|
| 1 | ソクラテスの弁明・クリトン | プラトン | 岩波文庫 | ソクラテスの弁明の内容と話し方、対話法の実際を読んでみよう。 |
| 2 | イリアス | ホメロス | 岩波文庫 | トロイア戦争末期を描いた英雄叙事詩。アキレウスらが活躍する。 |
| 3 | オデュッセイアー | ホメロス | 岩波文庫 | オデュッセウスの漂流冒険譚と帰国、妻への求婚者達に対する復讐。 |
| 4 | オイディプス王 | ソポクレス | 岩波文庫 | 現代の諸芸術にも取り上げられる悲劇の一典型 |
| 5 | シュメール神話集成 | | ちくま学芸文庫 | 世界最古の神話・文学(ちくま学芸文庫には16編が選ばれている) |
| 6 | ギルガメシュ叙事詩 | | | 古バビロニア時代のギルガメシュの英雄譚 |
| 7 | マハーバーラタ ナラ王物語 | | 岩波文庫 | 古代インドの人々の世界観、死生観がわかります。 |
| 8 | 般若心経(はんにゃしんぎょう) | (玄奘 訳) | 岩波文庫 | 玄奘(げんじょう)＝三蔵法師が漢訳したものを詳しい解説で読もう。 |
| 9 | 論語 | | | 多くの小さな章段に分かれているので、少しずつ読める。 |
| 10 | 旧約聖書 | | | 神と人とのかかわりの歴史を読もう。 |
| 11 | ガリア戦記 | ガイウス・ユリウス・カエサル | 講談社 学術文庫 | 当時のカエサルの戦いぶりとその魅力がわかる。 |
| 12 | 自省録 | マルクス・アウレリウス | | 自分の状況に対する新しい観点に気付くことができる。 |
| 13 | 唐(宋)伝奇集 | | 岩波文庫 | 千年前の中国の面白く不思議なお話。 |
| 14 | 万葉集 | | | 上代の日本人の心性と言葉を知ろう。 |
| 15 | 伊勢物語 | | | 昔の日本男性の「みやび」の真髄を知ろう。 |
| 16 | 蜻蛉日記 | 藤原道綱母 | | 美しい妻(側室)と権力者である夫との丁丁発止のやりとり。 |
| 17 | 源氏物語 | 紫式部 | | 中古文学の一つの極致を味わい、女性達のそれぞれの生き方を読もう。 |
| 18 | とりかへばや物語 | | | 心理学の分野で世界的に注目されている物語。 |
| 19 | 風姿花伝 | 世阿弥 | | 見られるもの(客体)としての主体の在り方を突き詰めた芸道論。 |
| 20 | 王書 | フェルドウスイー | | 古代ペルシャの神話・伝説と歴史時代の三部構成の建国物語。 |
| 21 | ベーオウルフ | | 岩波文庫 | 勇士ベーオウルフと怪物グレンデルの闘い。中世イギリス英雄叙事詩。 |
| 22 | ニーベルンゲンの歌 | | 岩波文庫 | ジークフリートを主人公とするドイツ中世の叙事詩。 |
| 23 | ローランの歌 | | | シャルル大帝麾下(さか)の将ローラン、オリヴィエらの奮戦を描く。 |
| 24 | トリスタン・イゾー物語 | | 岩波文庫 | トリスタンとイゾーの運命の恋を描くフランスの古典。 |
| 25 | エル・シードの歌 | | 岩波文庫 | スペインの国土回復運動(レコンキスタ)の勇士エル・シードの武勲の歌。 |
| 26 | 神曲 | ダンテ | | 主人公が地獄・煉獄・天国を案内されて見て回ります。 |
| 27 | 告白(録) | アウグスティヌス | | 壮年期までの行動と内面、回心、受洗後の神についての思索の告白。 |
| 28 | 東方見聞録 | マルコ・ポーロ | | エピソードが多く語られ、面白く読める。世界観の拡張に立ち合おう。 |
| 29 | 君主論 | ニココロ・マキアベッリ | | 人間と組織に対する観察と分析、考察を明快に述べる。 |
| 30 | エッセー(随想録) | ミシェル・ド・モンテーニュ | | 人間の諸相について古今の出来事に縦横に触れながら随想する。 |
| 31 | ハムレット | ウィリアム・シェイクスピア | | 父の弟と母の陰謀を知ったハムレットの葛藤と復讐を描いた悲劇。 |
| 32 | リア王 | ウィリアム・シェイクスピア | | 老王リアは3人の娘の愛情を試すが、各々の真情を見抜くことができず悲劇が起こる。 |
| 33 | オセロー | ウィリアム・シェイクスピア | | ヴェニス公国に仕えるムーア人の武將オセローと美しい妻デズデモナとの悲劇。 |
| 34 | パンセ | ブレーズ・パスカル | | 科学者パスカルがその思索・随想・回心などを綴ったノートをまとめたもの。 |
| 35 | 方法序説 | ルネ・デカルト | | デカルトの哲学の方法・世界観・体系を平易な言葉で説明する。 |
| 36 | ノヴム・オルガヌム—新機関 | フランシス・ベーコン | | ベーコンの主張する新たな科学的アプローチの論理の方法。 |
| 37 | ヴィルヘルム・テル | フリードリッヒ・フォン・シラー | | テルが息子の頭上の林檎を射た挿話で有名なスイスの建国を描く戯曲。 |
| 38 | ファウスト | ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ | | ファウストは悪魔との契約によって若返り、望みのままの人生を送る。 |
| 39 | 箴言(しんげん)と考察(省察と箴言) | ラ・ロシュフーコー | | 人間の精神や感情の諸相を独自の視点で分析し意表を突く表現で語る。 |
| 40 | 人間嫌い(「孤客」) | モリエール | | 誠実を重んじる青年貴族アルセストの恋愛を描く性格喜劇。 |
| 41 | シラノ・ド・ベルジュラック | エドモン・ロスタン | | シラノの秘めた恋を軽妙洒落な会話で展開する戯曲。 |
| 42 | アンナ・カレーニナ | レフ・ニコラエヴィチ・トルストイ | | アンナの心理だけではなく周囲の人々の変化も読んでみよう。 |
| 43 | 失われた時を求めて | マルセル・プルースト | | 感覚と記憶の膨大な記述によって、人生の時間と真実を構築する試み。 |
| 44 | ペスト | アルベール・カミュ | | ペストの流行により封鎖された市の極限状況にある人々の行動を描く。 |
| 45 | デミアン | ヘルマン・ヘッセ | | 主人公はデミアンとの交友を通して善と悪、肉と霊を自己の内に統合する。 |
| 46 | ツァラトストラはかく語りき | フリードリッヒ・ニーチェ | | 「神は死んだ」「超人」「カへの意志」「永劫回帰」等のニーチェの根本思想が語られる。 |
| 47 | ユング自伝 | カール・グスタフ・ユング | | 自己の無意識の部分との交渉をも含めた興味深い自伝。 |
| 48 | すばらしい新世界 | オルダス・ハックスリー | | 高度な科学技術で人間を管理する「幸福な」社会を描いたSF小説。 |
| 49 | 沈黙の春 | レイチェル・カースン | | 1960年代に農業による環境破壊を告発し、環境保護の取組の端緒となった本。 |
| 50 | 溺れるものと救われるもの | プリーモ・レーヴィ | | ナチス強制収容所の体験者による40年後の仮借ない自己省察と現代についての考察。 |
| 51 | 善の研究 | 西田幾多郎 | | 「純粋経験」「主客合一」の考えから善・神・知と愛についてまでの哲学を読んでみよう。 |
| 52 | 心 日本の内面生活の暗示と影響 | ラフカディオ・ハーン | 岩波文庫 | 作者の体験を基にした日本の様々な内面生活に関する評論・随筆・記録等の文章集。 |
| 53 | 私の個人主義 | 夏目漱石 | | 真の個人主義とは何か。漱石が若い学生らに講演した評論。 |
| 54 | 智恵袋 | 森鷗外 | | 日本の近代国家の建設に関わった鷗外からの青少年へのアドバイス集。 |
| 55 | 日本の弓術 | オイゲン・ヘリゲル | 岩波文庫 | 日本の弓術の達人による指導の実際を交えて弓術の精神的根底を明快に示す |
| 56 | 茶の本 | 岡倉天心 | | 原文は英語。茶の湯の基本事項とその精神を解り易く述べたもの。 |
| 57 | 人生論ノート | 三木清 | | 欧米でも著名だった哲学者の人生についての思索。 |
| 58 | 目に見えないもの | 湯川秀樹 | | 科学、宇宙の万物、人間、研究生活、人生についての明哲な洞察。 |
| 59 | 私の進化論・進化とはなにか | 今西錦司 | 今西錦司全集第十巻 | 「棲み分け」理論・「種の社会」の観点から進化の速度と方向性等独自の進化論を展開。 |
| 60 | 文明の生態史観 | 梅棹忠夫 | | 世界文明のフィールドワークから導かれたユニークな考察。 |
| 61 | コンプレックス | 河合隼雄 | 岩波新書 | コンプレックスの諸相と自己実現・個性化への過程を解き明かす。 |
| 62 | 「わかる」とは何か | 長尾真 | 岩波新書713 | 情報工学の碩学が人間の「理解」の内実を解説する。 |
| 63 | 現代倫理学入門 | 加藤尚武 | 講談社 学術文庫 | 倫理的に明晰に考える手掛りと道筋を実例を挙げて解説。 |
| 64 | 臨床の知とは何か | 中村雄二郎 | 岩波新書 | 現代までの諸科学を総括しこれからの知の在り方を示す。 |
| 65 | 坂の上の雲 | 司馬遼太郎 | | 近代を知ると現代がわかる。日本の近代史に興味を持つきっかけに。 |